2021年度みじん子賞を受賞して

富山県高岡市立中田中学校　校長　杉　山　直　孝

この度は，栄誉ある「みじん子賞」をいただき，誠にありがとうございます。このような賞をいただけることは，中田中学校のみならず，地域関係諸団体にとってもこの上ない喜びであります。本実践に関わっていただいた方々を代表して御礼申しあげます。

1. はじめに

本校は，富山県西部の高岡市南東部にある学校です。校区の西側に一級河川「庄川」が流れており，豊かな水を生かした田園地帯が広がっています。水がきれいで，いたるところでゲンジボタルの飛翔を見ることができる自然豊かな地域です。校区には，ゲンジボタルの保全活動に取り組んでいる中田地区記念物保存会，滝ホタル保存会，水辺環境全般の保全や学習に取り組んでいる反保島集落環境保全推進協議会，環の会，地下水の守り人などがあり，熱心に活動を行っています。

2. 実践活動の内容

2.1　ホタル飼育・研究活動

科学部では，昭和46年度より，ホタルの研究や増殖活動などを行っています。ゲンジボタルの幼虫は，11月頃まで育て，大きくなった幼虫を校区の用水などに放虫しています。また，地域関係諸団体と一緒に研究大会で活動の様子を発表したり，ホタル観察会を実施したりしています。

2.2　全員ホタル飼育活動

第2学年の生徒が9月～11月頃に実施しています。生徒一人一人が，担当するバットに2 mm前後まで育ったゲンジボタルの幼虫を取り分け，実際に育てる直接体験を行いました。水換え，給餌と幼虫の観察を行い，成長を観察しました。女子生徒を中心に，幼虫の形状や動きなどの見た目から拒否感をもつ生徒が多いことが分かりました。しかし，頑張って世話をしていくうちに一生懸命に生きて成長していく幼虫の姿に愛着をもつようになりました。ゲンジボタルの幼虫をペットのように思えた生徒も多く，興味をもった生徒ほど幼虫の成長や変化をきちんと観察でき，捕食や歩行の様子，脱皮後の殻や幼虫の体色の変化に気付くことができました。

写真1　全員ホタル飼育の様子

2.3　全校生徒（希望者）によるホタル生息調査

中田地区記念物保存会に協力する形でゲンジボタルの生息調査を毎年行い，データを蓄積しています。中田地区のホタル観察に適したパンフレット「ホタルサポーターズマニュアル」を作成し，全校生徒，校区小学校の全校児童，ホタルの保全活動や水辺環境の保全活動を行っている地域関係諸団体に配布しています。また，結果を分かりやすく掲示したり，実際にホタルを観察するホタルガイドツアー（最近の2年間は，新型コロナウイルス感染症のため，オンラインで実施）を行ったりしています。

写真2　ホタル調査の結果

3. おわりに

伝統的に取り組んできた科学部のゲンジボタル飼育活動を，全校生徒に広げ，地域のホタルのことを知ってもらう活動へ広げてきました。これらの体験的活動を通して，ゲンジボタルの保全には，幼虫が安定して住める水質や餌，温度などの環境が大切であることに気付き，水辺の環境を守ろうとする心が育ってきたと考えています。また，多くの生徒が飼育や調査に関わることで，中田地区のホタルを守っていこうという心も育ったと思います。

このような長期にわたる活動は，地域関係諸団体の支援があったからこそできた活動です。支援をいただいた皆様に心より感謝申しあげます。